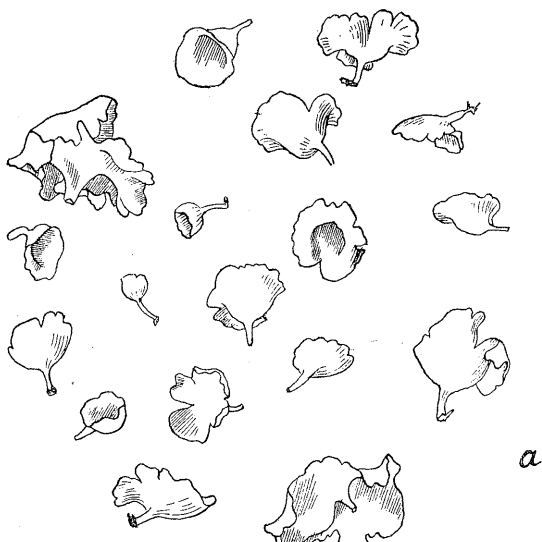


○蕾軒獨語 (其十九)

蕾軒 朝比奈泰彦

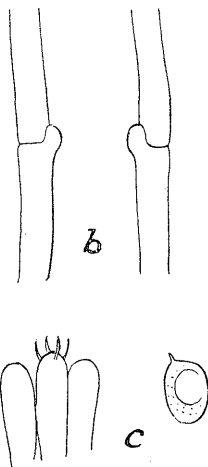
○二種ノうすたけ科 (Thelephoraceae) 菌、一、ふうりんたけ

(縮小寫生)



I 圖ノ甲 ふうりんたけ (Cyphella sp.) ノ各種發育ノ程度ヲ異ニセルモノ a. 全形 (1/1)

大正十四年八月三十日大磯高麗山ニ植物ヲ採集シI圖ノ如キ菌ヲ得之ヲ酒精漬標本トシテ保存セリ、此菌ハ地上ニ群生シ生時新鮮ナルモノハ内外共ニ殆ド純白色ニシテ肉質初メハ鐘形ヲナシ底部ハ斜メニ伸長シテ柄トナル、口徑〇・五乃至二「セ、メ」ニ及ブ外面ハ殆ド平滑又ハ僅ニ粗糙ナリ内面ハ平滑ニシテ子實體ヲ形成シ老熟スレバ周邊大ニ開展シテ波狀ノ邊緣反卷シ又全體僅ニ黃褐色ヲ帶ブルニ至ル、子實體ニハ刺毛體 Cystidia ヲ缺キ擔子



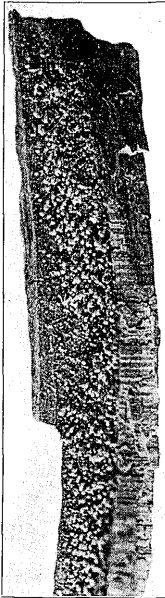
I 圖ノ乙 ふうりんたけ (Cyphella sp.)

- b. 子實下層ノ有鉤細胞 (擴大)
c. 擔子細胞ト孢子 (擴大)

(縮小寫生)

細胞ハ圓筒狀又ハ短棍棒狀ニシテ四ケノ柄ヲ具ヘ胞子ハ無色ニシテ略ボ橢圓形ヲナシ短嘴ヲ有ス大サ 7.8×5.6 マアリ子實下層ノ細胞ハ薄膜性ニシテ顯著ナル有鈎細胞ヨリナル、本菌ノ形態ヨリシテハぼたけ科ノ *Cyphella* 屬ノモノタル事ハ確ナルガ其種名ハ未定ナリ、和名ヲふうりんたけ(風鈴茸)ト命名シ置カン、最近出版セラレタル白井、原兩氏訂正増補日本菌類目錄第三版第一一二頁ヲ見ルニ *C. pendula* SCHWABER, *C. digitata* (ALB. ET. SCHW.) FR., *C. epileuca* BERK. ET CURT. ノ三種ヲ掲ゲタリ此第一ノモノハ日本文獻ノ出所ヲ掲ゲズ SAC-CARDO ノ菌目録第六卷ノ記載ヲ見ルニ其色淡墨色 *Chinereo-fusca* トアルヲ以テ本種ト異ル又第二ハ日本文獻ノ出所タル植物學雜誌第三十卷第三百五十六號第二四〇頁安田篤氏菌類雜記(第五四)ニ和名こぶしたけ(拳茸)ニ *Cyphella digitata* (ALB. ET SCHW.) ナル學名ヲ充テタルヨリ引用シタルモノナルガ *digitata* & *Digitalis* ノ誤リナリ此點ハ菌類目錄第二版ノ方ガ正シ而シテ RABENHORST'S *Kryptogamen-Flora* 第一卷 WINTER 著菌部第三一九頁ニアル圖ト其記載並ニ *Micaria Kryptogamen Flora* 第三卷二類第一一〇頁ノ *Cyphella Digitalis* ノ記載トヲ讀ミ合セルト外面褐色ヲナスコト縦皺アルコト及胞子ガ球形ニ近ク徑 12μ ナルコトハ吾人ノふうりんたけト一致セズ安田氏ノ記載ハ更ニ異ルモノニシテ恐クハ *C. Digitalis* 以外ノモノヲ指シ居ルナルベシ、第三ノ *C. epileuca* BERK. ET CURT. ハ安田篤氏著植物學各論隱花部第四七八頁ニびんろうじたけトシテ掲ゲアリ別ニ詳シキ記載ヲ缺ク、今之ヲ SACCARDO 氏菌目録第六卷第六八〇頁ニ就テ見ルニ外形鞣皮褐色ヲ呈ストアルニヨ

(舊種撮影) (二百年)

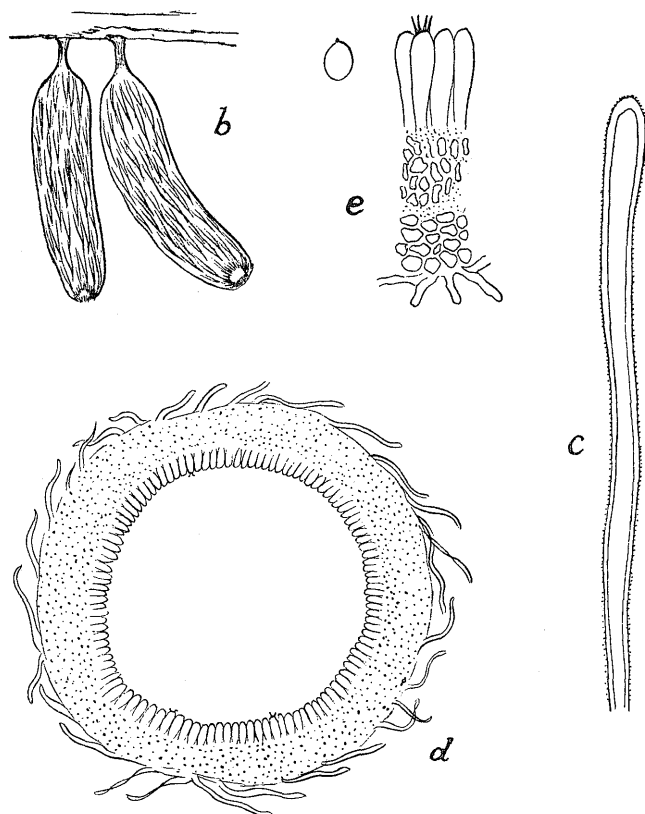


II 圖ノ甲 くだたけ
(*Solenia* sp.)

リ全ク異物ナリ、從テ余ノ命名シタルふうりんたけハ本邦ニ未ダ記載サレザリシモノト認ム

○同 二、くだたけ

昭和二年八月ニ久内清孝君ハ又大磯ノ高麗山ニ遊ビ見馴レザル一菌ヲ採集シテ予ニ示シタ、其菌(II圖)ハ枯



(藤方寫生)

II 圖ノ丙くだだけ (Solenia sp.)

b. 二箇ノ子實體 (×25)

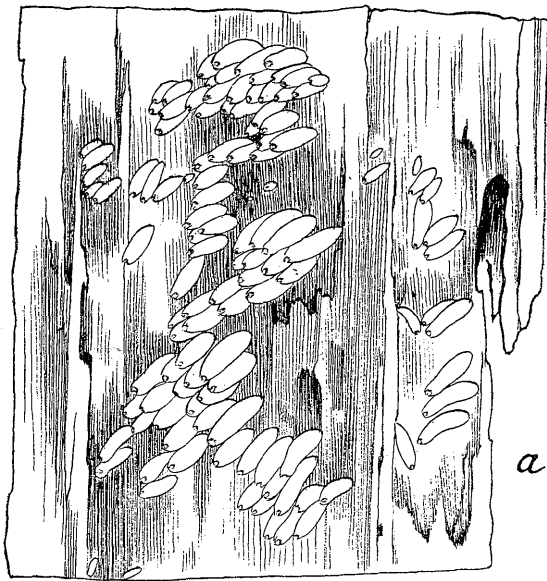
c. 外面ノ毛茸 (擴大)

d. 子實體ノ横斷 (擴大)

e. 子實體ト胞子 (擴大)

死セル木材ノ表面ニ群生セル
 小サキ管ノ如キモノデ長サ一
 「ミ、メ」前後、幅〇・三—
 〇・五「ミ、メ」許リアリ、短柄
 ニヨリテ基物ニ着生シ外面ニ
 ハ黄褐色ノ毛(徑三「ミ」程)ヲ密
 生スル、管ノ内面ハ平坦ニシ
 テ白色、全面子實體層ヲナシ密
 ニ排列セル擔子細胞ハ棍棒狀
 ヲナシ幅六「ミ」長十二「ミ」四箇ノ
 柄ヲ生ズル、刺毛體ハ無イ、
 胞子ハ橢圓形デ短嘴ヲ有シ
 4.5×2.6「ミ」無色デ被膜ハ平滑
 デアル、以上ノ性質ヨリ推ス
 トウすたけ科ノ Solenia 屬ノ
 モノト思フ、シカモ Solenia
 ochracea HOFFMANN. ノ記載
 ニ可ナリ近似シテ居ルガ其實
 物ヲ見ナイカラ決定ハデキナ

ひらたけトむきたけトハ別物ナリ



(縮小寫生)

II 圖ノ乙くだたけ (*Solenia* sp.)

a. 自然着生ノ状態 (×10)

イ、ソレニア屬ノ菌ハ未ダ一ツモ吾國ニ「レコード」サレナイノデアル、ソコデ本菌ノ和名ヲくだたけト呼ンデ置カウ

○ひらたけトむきたけトハ別物ナリ

理學博士 川村清 一

ひらたけ (*Pleurotus ostreatus* Jacq.) ノ異名トシテむきたけトあはびたけトガアルコトハ明治三十九年七月敬業社發行ノ新撰日本植物圖說、隱花類部ニ第三圖版トシテひらたけヲ圖示解説シテアル中ニ記シテアルノガ元デ爾來此異名ガ踏襲サレテキル

右ノ新撰日本植物圖說ニ記サレテキルひらたけノ解説中ニハ「通例蓋ノ上皮ヲ剥ギ柔キ内部ノ肉ヲ食用トス故ニむきたけノ名アリ其味淡甘滑美頗ルあはびニ似タリ故ニあわびたけト云フ」、トアルノデ其異名ノ意味ハ明瞭デアルガ、私が明治四十二年十月長野縣戸隠山中デ採集シタモノ、明治四十四年十月青森縣十和田湖附近デ採集シタモノ等ハ何レモぶなノ朽樹ニ生じ一見ひらたけノヤウデアルガ全ク異ル種類デ土地ノ人モ之ヲひらたけト區別シテむきたけト稱シひらたけノ上皮ハ餘リヨクハ剥ゲナイガ此方ハ上皮ガ剥ゲ易イカラ特ニむきたけト云フト土地ノ人カラ説明ヲ聞イタ許リデナク之ヲ自ラ實驗シ且試食シテ其美味ヲ賞シタコトガアッ